

事業番号	02 05 01	事業改善シート (25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州まつもと空港活性化事業			担当	部局	企画振興部	
				担当	課・室	交通政策課	
総合5か年計画	プロジェクト	2-1 農山村産業クラスター形成プロジェクト			E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	5-1 高速交通・情報通信ネットワークの充実 3 信州まつもとと空港の活性化			実施期間	H6 ~	

1 事業の概要

目指す姿	信州まつもとと空港にかかる広報宣伝と、利用者・旅行会社等への支援を関係機関と連携して取り組み、信州まつもとと空港発着の国内定期便の安定的な運航の確保及び増便を目指す。 成果目標: 信州まつもとと空港利用者数 76千人(H23) → 120千人(H29)
------	---

現状	○平成24年度において、信州まつもとと空港発着の札幌線と福岡線を合わせた定期便の利用率は、夏季(7月~9月)では78.9%と好調である一方、冬季(11月~1月)では60.2%と落ち込みが激しく、年間では69.6%となっている。
----	---

県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 市町村・経済団体とともに、県営空港の活性化に向けて県が主体的に取り組む必要がある。 信州まつもとと空港利用促進協議会規約
	県民との協働による実施: 困難	

事業内容	① 成果目標 (H25)						
	○定期便等の利用者数 H29年度 120千人に向け、H25年度 80千人 (設定理由: 空港の利用状況を表す定期便とチャーター便の利用者数について、定期便の利用率向上とチャーター便運航数の増加を目指して80千人と設定)						
	○定期便の利用率 70% (設定理由: 空港の利用拡大(既存路線の複便化、新規路線の開設等)を図る際に目安となる定期便利用率の向上を目指して、70%と設定)						
	② 事業内容 (単位:千円)						
	項目	実施方法	H25事業実績		H25		H26
				(当初)	(決算)	(当初)	
	1. 信州まつもとと空港利用促進協議会負担金	負担金	①定期便の利用拡大 <安定的な需要の確保> ・マスメディア等を活用した県内・就航先でのPR <冬期間における需要確保> ・冬期間の旅行商品造成支援(送客実績4,219名) ・スキーバス借上費用助成 <新規需要の開拓> ・空港遠隔地からの移動バス借上費用助成 ②チャーター便の運航支援 ・国際チャーター便への助成 8便(ロシア、カンボジア) ・国内チャーター便への助成 36便(奄美、釧路他) ③空港アクセスの向上 ・エアポートシャトルバスの運行への助成	18,900	18,900	20,100	
	2. 空の日事業負担金	負担金	『スカイフェスティバル in 松本』の開催(2500人) (県民の方が空港に親しんでもらうためのイベント)	300	300	300	
	3. 信州まつもとと空港路線拡充事業補助金	-	-	0	0	2,200	
			合計	19,200	19,200	22,600	

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	当初予算	22,000	19,200	19,200	22,600
	補正予算	8,604	11,567		
	合計(A)	30,604	30,767	19,200	22,600
	国庫支出金				
	Aの財源				
	県債				
	その他(繰入金)	8,604	11,567		
	一般財源	22,000	19,200	19,200	22,600
決算額(B)	30,604	30,759	19,200		
概算職員数(人)	3.00	3.00	3.00	3.00	
概算人件費	24,774	24,774	24,774	24,774	
概算事業費(B(A)-C)	55,378	55,533	43,974	47,374	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
信州まつもとと空港利用者数	77千人	80千人	85千人	達成	90千人
国内定期便利用率	69.6%	70%	75.4%	達成	75%

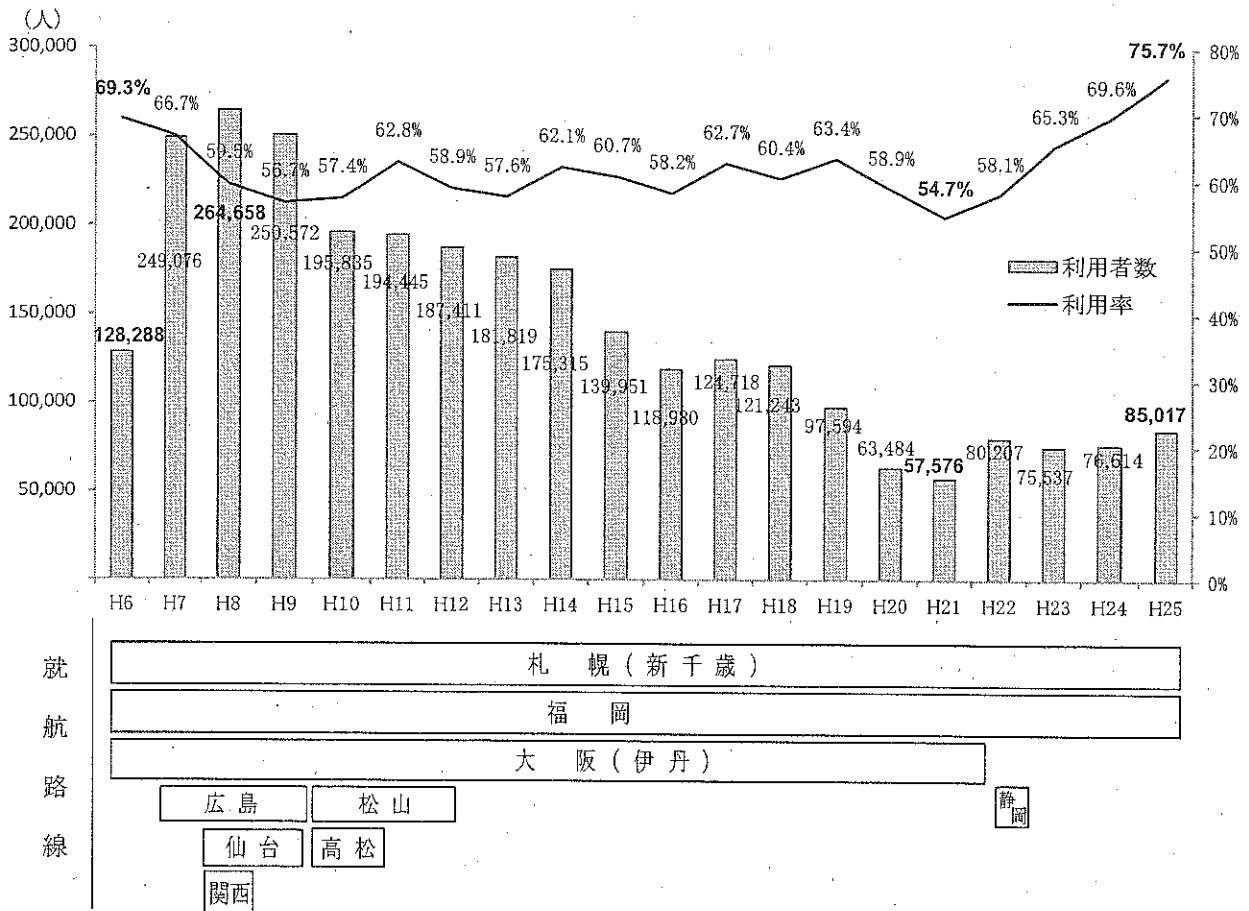
目標に対する成果の状況	九州からのスキー客の利用促進を図るなど、低迷する傾向にある冬期間の利用拡大に努めたことから、空港利用者及び国内定期便利用率において目標を達成することができた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 H26は空港利用者数と定期便利用率のさらなる伸展を目標に掲げ、既存路線の複便化など就航路線の拡充を目指すとともに、8月に季節便として復活する大阪(伊丹)線についても定着はもとより、運航期間の拡大、通年運航の実現に向けた利用促進対策を展開していく。
--------------------	--

信州まつもと空港の状況

1 利用状況の推移



2 チャーター便の状況

	国際チャーター便		国内チャーター便	
	便数(就航先)	利用者数	便数(就航先)	利用者数
H6~14	11(韓国)	1,170人		
H15			3(大阪、出雲)	359人
H16	2(香港)	228人		
H17	6(香港、台湾)	694人		
H18	16(青島、台湾他)	1,732人		
H19	22(上海、台湾、グアム他)	2,083人		
H20	32(上海、台湾、グアム他)	2,631人		
H21	15(大連、グアム他)	1,422人		
H22	6(上海、グアム)	638人	47(種子島、奄美他)	3,177人
H23	8(香港、台湾、ロシア)	900人	52(奄美、鹿児島、釧路他)	3,401人
H24	2(台湾)	170人	2(小牧)	132人
H25	8(ロシア、カンボジア)	445人	36(奄美、釧路他)	2,511人
計	128便	12,113人	140便	9,580人
就航先別状況	中国(60)、台湾(31)、香港(6)、韓国(11) ロシア(10)、グアム(8)、カンボジア(2)		鹿児島(65)、北海道(30)、静岡(14) 沖縄(10)、熊本(7)、長崎(6)、島根(5) 名古屋(2)、大阪(1)	

信州まつもと空港利用促進協議会の概要

- 1 設 立 平成6年4月
- 2 目 的 信州まつもと空港の利用促進を図り、その活性化と発展を目指す。
- 3 会 員 県、市町村、経済団体及び観光・空港関係団体等（99団体）
- 4 役 員 会長（長野県知事）、副会長（松本市長、塩尻市長）
常任理事（長野県企画振興部長）、理事22名、監事2名

5 事 業

(1) 平成25年度事業内容

① 定期便の利用促進

- ・ 県内及び就航先でのメディアを活用した広報宣伝
- ・ 就航先の旅行商談会や物産展等に参加し、空港利用をPR
- ・ 旅行者者に対して、定期便を利用する旅行商品造成等を支援

② チャーター便の誘致

- ・ 国際チャーター便、国内チャーター便の運航を支援

③ 空港アクセスの向上

- ・ 空港と松本バスターミナルを結ぶエアポートシャトルバスの運行を支援

(2) 平成25年度決算額 24,185千円

<定期便のダイヤ>

(平成26年8月現在)

路 線	出 発		到 着	
札 幌 線	松本発	12:30 ⇒	札幌着	14:00
	札幌発	14:30 ⇒	松本着	16:05
福 岡 線	松本発	16:30 ⇒	福岡着	18:10
	福岡発	10:20 ⇒	松本着	11:50
大阪(伊丹)線 (8/1 ~ 8/31)	松本発	15:00 ⇒	大阪着	15:55
	大阪発	13:30 ⇒	松本着	14:20